

セキュアプログラミング特論

2018年10月29日 6限目 グループ活動

グループとしての内容

- C11セキュリティライブラリについて説明する
- 代表的なものをピックアップして検証する
- セキュア関数を使った場合と使っていない場合の差を検証する

本で行った作業

- メンバーの環境構築を実施
 - 動作を確認
 - サンプルコードを使って動作を確認
 - Vagrant Boxを更新
- Git-Bubに作業用のリポジトリを作成

動作確認に使ったコード

```
#define __STDC_WANT_LIB_EXT1__ 1
```

```
#include <stdio.h>
```

```
#include "libsafec/safe_lib.h"
```

```
int main(void)
```

```
{
```

```
    char buf[16];
```

```
    puts( "何か入力してください。" );
```

```
    gets_s( buf, sizeof(buf) );
```

```
    puts( buf );
```

```
    return 0;
```

```
}
```

参照サイト

- 第10章 著名な脆弱性対策 C11: 2011年以降のC言語仕様
 - <https://www.ipa.go.jp/security/awareness/vendor/programmingv2/contents/c910.html>
- Git-Hubのページ: rurban/safeclib
 - <https://github.com/rurban/safeclib>

成果物

- 検証環境のVagrant boxイメージ
 - aiit-alpha-team/CentOS-7.5_2018_SecurePrograming_group2
- git-hubリポジトリ
 - a1852rw/aiit_004_SecurePrograming
- グループ発表スライド